

# やまびこ

BULLETIN OF YAMAGATA UNIVERSITY LIBRARY

No.49 2002. 10

[蔵王のお釜(火口湖)]

「今日の日」板坂記代子作



「受胎告知」白石健一作



「華」武田浩樹作

「UP DATE」庄司秀行作

## もくじ

偶感 .....	附属図書館長 早川 正信.....	2
ひろば(図書館からのお知らせ) .....		3
使ってみよう“雑誌記事索引” .....		4 - 6
自著を語る		
= 材料力学のおもしろさ =	工学部教授 高橋 寛.....	6
附属図書館各種委員.....		7
附属図書館協議会審議事項(第1回) .....		7
附属図書館(中央図書館)ガイダンス実施予定(平成14年度後期) .....		8

# 偶 感

附属図書館長 早川 正信

さきごろ新聞を読んでいたら「教科書から消える文豪」という記事があった。ご記憶の方もあろう。鷗外、漱石が高校の必修教科書から姿を消すという。この記事と関連して、必修教科書に掲載された作品「ベスト5」が、1964年、82年、2002年、3年の年次に限ってだが、一覧表になっている。それらによると鷗外、漱石は1964年には1、2位を占めているが他の年次では5位以内に入っていない。代わって芥川龍之介の名が82年以降連続して首位を占める。(主として「羅生門」「鼻」)年次によっては全出版社が「羅生門」を採択した。この調査を担当されたI氏は、「(芥川の作品が)全文掲載出来る分量や、「人間とは何か」を考えさせるテーマの現代性にある。」と述べておられる。言うまでもなく芥川作品は短編が多く、筋の展開、主題の奇抜さ、怪異性などは魅力的かつ現代的である。

そうか、なるほどと納得しようとした矢先、急に気になりだしたことがある。果してごく初期の芥川には「人間とは何か」を問う創作心があったらうかといういささかの疑問である。この疑問は、先日さきの2作とあまり離れていない時期に書かれた「酒虫(しゅちゅう)を読んだことに関わっている。「羅生門」(大正4.9)、「鼻」(大正5.2)「酒虫」(大正5.6)と書き進んだ芥川の創作心はかなりの部分この期間共通性を帯びていたに違いないのである。しかしながらこれら3作のうち「酒虫」は、批評家らの不当な発言「原話を出していない」ということにより、あまり世の上に読まれていないようである。

「原話」とは、中国、清代の小説家蒲松齡(ほしうれい:1640-1714)の著作『聊齋志異』(りょうさいしい:1680?)のなかの一篇「酒の虫」である。芥川は説話風で約800語から成る話を約7,000語を費やして小説風書き替えた。冗長にわたって恐縮だがごく要約的に粗筋を示すと、

長山(ちょうざん)に住む劉大成はでぶで飲んでべえで独酌するたびに一石の酒を尽す。ある日蛮僧がやって来て「酒を飲んでも酔いますまい。それは酒の虫のせいだ」と言われ小心で虚栄心のある劉は治療を受けて酒虫を吐く。まもなく劉は病がちとなり貧に犯される。世間は、これを、(1)酒虫は福であったのにこれを吐いたため、(2)酒虫はもともと凶であり早めに吐いてよかったのだ、

と噂した。

これらの答に加えて芥川は第三番の答えを与えた。(3)劉の一生から酒を除けば何も残らない。してみると劉は酒虫、酒虫は劉である。だから劉が酒虫を去ったのは己を殺したと同然である。」と加えたのである。この答は芥川のこの作品に托した立場をよく示している。すなわち、「うかつに生来持っている資質(劉の場合は大酒が飲めるということ)を捨て去る愚かさ」という視点から烈しい「諷刺」の矢を射ているのである。大正9年1月から連載した「骨董羹(こつとうかん)」という文章のなかでは、「聊齋志異」の項目を設け、この中国のお化け、妖怪を中心に書かれたこの著作が、実は「小精や野鬼を借りて乱臣賊子を罵殺せん」としているのだという。ちなみに、「罵殺」は「罵り殺す」という強烈な「諷刺」を意味する芥川自身の造語である。

とするなら、ごく初期の芥川作品には、こうした「諷刺」という視点がみられるとあってよいであろう。この視点からすれば、とくに「羅生門」「鼻」などのなかにもこの精神が通底しているに相違ない。この視点によればこれら作品を「人間とは何か」という演繹的立場よりも、「人間どう生きるか」という帰納的な命題を問うているとみた方が適切ではないか。

教科書における芥川の首位の座も、こうした「諷刺」という精神が作品の背後に働き、これが高校生に興味を抱かせているというのはやや考えすぎというところか?

(2002.9.10)

(はやかわ・まさのぶ)





より新しいニュースは、ホームページを！

<http://www.lib.yamagata-u.ac.jp/>

中央 023(628)4913 医 023(628)6054

工 023(26)3019 農 023(28)2810

## 全館共通

### 電子ジャーナルの導入について

平成14年度から、エルゼビア社のサイエンス・ダイレクト (Science Direct) : サブジェクト・コレクション (Science Direct : Subject Collections) のライフサイエンス関連 6 分野の約400種類の電子ジャーナルが全学で利用可能となりました。

また、Nature, Nature biotechnology, Science のオンライン版も導入されました。図書館ホームページからご利用ください。

### NACSIS IR の利用について

NACSIS-IRでは、[雑誌記事索引]を含む91種のデータベースが提供されています。これまで、利用量に応じて課金される「従量制」サービスによる利用に限られていましたが、平成14年4月1日から、「機関別定額制」のサービスも開始されましたので、図書館として契約して全学に提供することが可能となりました。このため、利用者の方は、時間・料金を気にせず NACSIS-IR を利用することができるようになりました。

## 中央図書館

**受入係の業務が事務局契約室に統合され、係が廃止されました。**

4月1日から受入係が所掌していた図書等の購入業務が経理部契約室に移行しました。ただし、当分は契約室から図書館へ出向しての業務となります。購入依頼等は従前通り図書館事務室までお願いします。

### オープンギャラリーの作品を展示換えしました

毎年、本学教育学部美術科専攻学生や大学院生の協力を得て、卒業制作等の作品を展示しておりますが、7月に展示換えしました。

現在の館内展示数は12点です。

(一部は表紙に掲載)

## 医学部分館

<http://www.lib.yamagata-u.ac.jp/medical/MedMain.shtml>

### 館内環境を改善しました

昨年度にひきつづき、館内環境改善の一環として、1階閲覧席のカーペットの張り替えとブラインドの更新、2階階段脇にコイン返却式ロッカーの設置、カウンター脇の目録カードボックスを1階に移動し、そのあとに新着図書配架用のラックを設置、さらに、閲覧席不足解消のために、机と椅子を購入し若干ですが増席しました。多少狭く感じられるかもしれませんが、ご協力お願いします。

### 各学年推薦の学生用図書を購入しました

恒例となりました医学科・看護学科の各学年からの推薦による学生用図書を購入しました。希望図書をとりまとめていただいた各学年のクラス委員の方々にはこの場を借りてお礼申し上げます。ただ、残念ながら推薦のない学年が多くなってきております。せっかくの機会ですので、来年度はたくさんの学年からの推薦をお待ちしております。

## 工学部分館

<http://yzlib.yz.yamagata-u.ac.jp/>

### 学外利用を未成年者に拡大しました

平成14年3月19日開催の工学部教授会で「山形大学附属図書館工学部分館の学外者における利用申告せ」が承認されました。これにより、これまで成人に限っていた学外者の利用を未成年者にまで広げました。

### ニューメディア室にパソコン及びビデオ装置を新規導入しました

平成14年度工学部事業費により、図書館3階のニューメディア室(2)に OfficeXP 搭載のパソコン3台とビデオ装置3台を新規導入しました。

## 農学部分館

<http://www.lib.yamagata-u.ac.jp/nougaku/>

### HPを全面リニューアルしました

懸案であったHPを1年8か月ぶりに衣替えしました。HPからの文献複写等の依頼、電子ジャーナルへのアクセス等が便利になりました。

また、お知らせ等を随時盛りこむ予定ですのでご注目ください。

### 改修工事、間近にせまる

5月に浮上した改修工事が、11月頃から3月末までの予定で始まります。10月からの半年間、学生、教職員の皆様には利用サービスの制限等によりご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いたします。

なお、図書館の引越先は旧4番講義室の予定です。

# 使ってみよう “雑誌記事索引”

## はじめに

山形大学図書館では、平成13年度から、欧文文献検索用として“Web of Science”が、邦文文献検索用として“雑誌記事索引”が導入されています。

このうち、“Web of Science”については、「やまびこ」No.47(2001.10)すでにご紹介が済んでいますので、今回は“雑誌記事索引”をご紹介します。

## 1. 雑誌記事索引とNACSIS-IR

### 1) 雑誌記事索引とは

雑誌記事索引とは、国立国会図書館が収集する国内刊行の学術雑誌に掲載された論文の[ 標題・著者名・掲載雑誌名・巻号・ページ ]等を収録した国内最大の記事索引データベースです。

雑誌記事索引には、人文・社会・科学・技術・医学など全分野の和文雑誌約10,000誌、国内刊行欧文雑誌約100誌の記事が採録されています。

このため、雑誌記事索引は、日本(語)の文献を検索するための最も基本的なツールとなっています。

山形大学では、雑誌記事索引はNII(国立情報学研究所)情報検索サービスシステム“NACSIS-IR”で利用することができます。

### 2) NACSIS-IRとは

では、このNACSIS-IRについて簡単に説明しましょう。NACSIS-IRとは、広範な分野の文献情報・学術情報などをオンラインで提供する情報検索サービスシステムです。

NACSIS-IRでは、91種類ものデータベース(平成14年9月1日現在)を検索(単独もしくは横断検索)することができますが、このうち、日本(語)の文献を検索するのに最も有効なデータベースが雑誌記事索引です。

## 2. 使ってみよう雑誌記事索引

### 1) NACSIS-IRへの接続

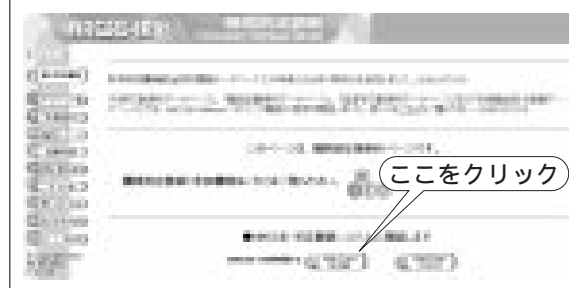
雑誌記事索引を利用するには、まず、NACSIS-IRへ接続する必要があります。NACSIS-IRへは、当館

ホームページ[ <http://www.lib.yamagata-u.ac.jp/> ]からリンクが張ってあります。トップページ画面左の[ 雑誌記事索引等( NACSIS-IRの検索 ) ]をクリックし、次の画面で[ 利用はこちらから ]をクリックしてください。下のような画面が表示されます。以降、Step 1 から Step 2 へと進んでください。

注：NACSIS-IRへのアクセスは、学内LANに接続のコンピュータからに限られます。

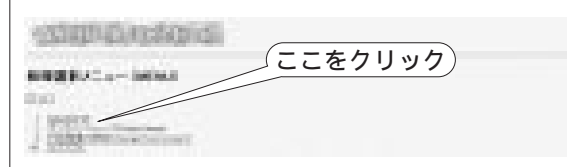
Step.1 : [ Web Front 日本語 ] をクリック  
([ Web Front English ] をクリック)

Fig.1 : NACSIS-IRトップ画面(機関別定額制のページ)



Step.2 : [ 1.NACSIS-IR ] をクリック

Fig.2 : NACSIS-IR処理選択メニュー画面



\* このページから [ NACSIS-IR操作入門テキスト ] (PDF : A 4 判で約80ページ) がダウンロードできます。

### 2) NACSIS-IRデータベース選択

この画面で“検索対象データベース”を選択します。選択方法は、次の2つです。

ID番号を [ データベース名 ] 欄に入力する。

チェックボックス( ) をチェックする。

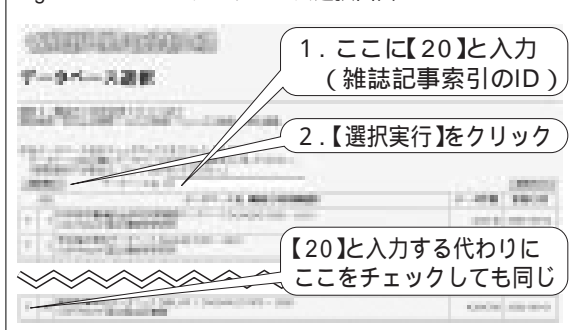
なお、検索対象データベースは一度に複数を選択することも可能で、複数選択したデータベースは自動的に横断検索されます。



Step.3 : 検索対象データベースを選択し [ 選択実行 ] をクリック

**[ データベース名 ] 欄にID番号 [ 20 ] を入力**

Fig.3 : NACSIS-IRデータベース選択画面



### 3) 雑誌記事索引を利用した文献の検索

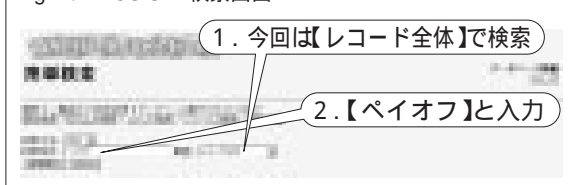
ここからが検索の開始です。今回は、“簡単検索”を行うこととしますので、まず、[ 検索条件 ] を入力します。[ 検索方法 ] と [ 範囲 ] はプルダウンメニュー ( ) でそれぞれ選択可能です。

\* [ 検索方法 ] 欄及び [ 範囲 ] 欄についての詳しい説明は、この画面で参照できます。

Step.4 : [ 検索条件 ] 欄に検索語を入力し [ 選択実行 ] をクリック

**今回は [ 検索条件 ] 欄に [ ペイオフ ] と入力**

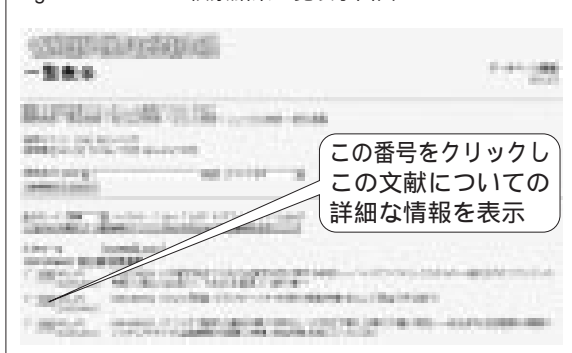
Fig.4 : NACSIS-IR検索画面



Step.5 : 文献一覧をブラウズし、必要文献が見つかったら、文献の先頭番号をクリック

**775件ヒットしました。今回は774番をクリックします。**

Fig.5 : NACSIS-IR検索結果一覧表示画面



\* ヒット件数が多い場合、実際は“絞込検索”が必要です。

### 4) 外部情報 (NACSIS-Webcat) による所蔵館検索

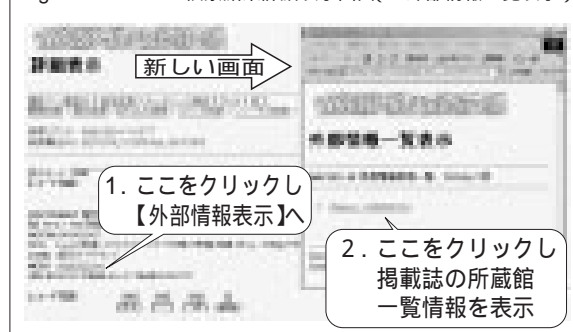
文献の詳細 ( 標題・著者名・掲載雑誌名・NCID 巻号頁年 ) が表示されます。

これまでは、この画面 ( NACSIS-IR Web-Front 詳細表示 ) が最終の画面でしたが、平成14年7月10日から [ NACSIS-IR ] と [ NACSIS-Webcat ] がリンクされましたので、詳細情報に表示された資料の所蔵館の検索が一連の流れで行えるようになり、非常に便利に使えるようになりました。

Step.6 : [ NCID:ANXXXXXXXX ] をクリックし [ 外部情報一覧表 ] 画面を立ち上げ、新しい画面の [ 1.WebCat:ANXXXXXXXX ] をクリック

**文献の詳細が表示されたら [ NCID:AN00383144 ] をクリックし [ 外部情報一覧表 ] 画面を立ち上げ、新しい画面で [ 1.WebCat:AN00383144 ] をクリック**

Fig.6 : NACSIS-IR検索結果詳細表示画面 ( 外部情報一覧表示 )

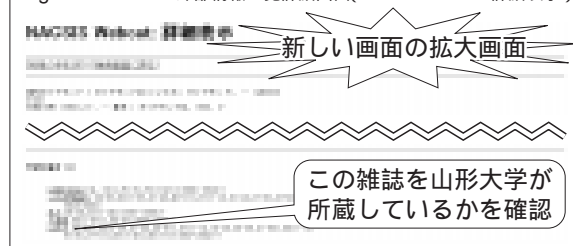


\* [ NACSIS-Webcat ] へリンクしているデータベースは [ 9 : 経済学文献索引 ]・[ 12 : 学術雑誌目次速報 ]・[ 14 : 引用文献索引 ]・[ 20 : 雑誌記事索引 ] の4種です。

Step.7 : [ NACSIS-Webcat : 詳細表示 ] 画面が表示されたら、[ 所蔵図書館 ] を確認

**[ NACSIS-Webcat:詳細表示 ] 画面を下へスクロールし、山形大学における所蔵を確認 ( 多くの場合、山形大学は画面下に表示されます。 )**

Fig.7 : NACSIS-IR外部情報一覧詳細画面 ( NACSIS-Webcat詳細表示 )



### 5) この文献を入手する

山形大学に所蔵があった場合：OPAC（山形大学蔵書目録）で検索し所蔵箇所を確認、貸出または複写してください。

山形大学へ所蔵がない場合：他大学図書館等への文献複写を申し込んでください。

### 最後に

誌面の関係上説明できませんでしたが、雑誌記事索引（NACSIS-IR）ではこれ以外にも様々な形の検索が可能です。

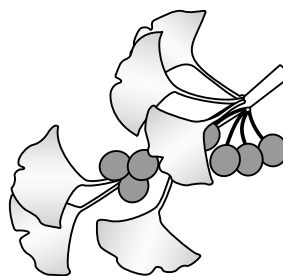
しかし、難しく考えないでください。効果的な検索法は使っているうちに自然に覚えるでしょう。

NACSIS-IRは、本年度から図書館が料金を負担する「機関別定額制」サービスにより全学に提供されています。利用される方は、時間・料金を気にせず、普通にインターネットを利用する感覚でNACSIS-IRを使うことができます。安心してバンバンご利用ください。

### \*\*\*\*\* 追加のお知らせ \*\*\*\*\*

この原稿を作成の後、雑誌記事索引データベースに限り、平成14年10月1日から国立国会図書館のホームページ [ <http://www.ndl.go.jp> ] から利用できるようになりました。当分の間は2002年以降の文献のみが検索対象ですが、自宅等から雑誌記事索引データベースを利用したい場合は、こちらをお試しください。

（文責：学術情報係 坂本芳廣）



### 自著を語る

## 高橋 寛 著 「材料力学のおもしろさ」 アイピーシー 1997年

研究会のあと、仲間の研究者達とビールを傾けながら、“近ごろ学生は航空とかロボットに集まって、材力のような地味な分野に来てくれなくて困ったよ”というぼやきを聞いた。“いやそんなことはない”という思いが、この図書の執筆の動機である。タイトルにある“おもしろさ”とは、例えばイラスト等を利用して分かりやすく面白おかしく書いたという意味ではない。

勉強は本来人間の実生活に役立つものであり、それを肌で実感すると勉強が面白くなるはずだというのが、私の持論である。例えば次のような問題を与えられたとしよう。“バンジージャンプで、自分が谷川に初めて飛び込むものとする。必要なゴム紐の長さとお太さを決定せよ”。単なる演習問題ではなく、自分が直面するかも知れないと感じた時、勉強が真剣なものとなり、分かった時には心底から喜びが湧き上がるはずである。

材料力学とは、乗り物や機械や構造物が安全かどうかを判断するための学問である。設計者が自分の設計したものの安全性を信ずる心が、世の中の安全を支える土台となる。設計者は沢山ものを知っている必要はない。心の底から信じていることのできる知識を少し持つことである。本書はこのような設計者が育つことを願ってまとめたものである。

（たかはし ひろし・工学部教授）

## 平成14年度附属図書館協議会委員名簿

( は委員長)

所 属	氏 名	任 期
附属図書館長	早 川 正 信	14. 4. 1 ~ 16. 3.31
医学部分館長	加 藤 宏 司	13.10. 1 ~ 15. 9.30
工学部分館長	中 野 政 身	13. 1. 1 ~ 14.12.31
農学部分館長	貫 名 学	13. 4. 1 ~ 15. 3.31
人文学部教授	阿 部 八 郎	14. 4. 1 ~ 16. 3.31
”	伊 藤 宣 生	13. 4. 1 ~ 15. 3.31
教育学部教授	伊 藤 清 郎	14. 4. 1 ~ 16. 3.31
” 助教授	今 村 哲 史	14. 4. 1 ~ 16. 3.31
理学部教授	澤 井 毅	13. 4. 1 ~ 15. 3.31
”	仲 田 正 躬	14. 4. 1 ~ 16. 3.31
医学部教授	山 下 英 俊	14. 4. 1 ~ 16. 3.31
工学部教授	上 林 憲 行	13. 4. 1 ~ 15. 3.31
農学部教授	高 橋 教 夫	14. 4. 1 ~ 16. 3.31

## 附属図書館自己評価委員会委員名簿

( は委員長)

所 属	氏 名	任 期
附属図書館長	早 川 正 信	14. 4. 1 ~ 16. 3.31
医学部分館長	加 藤 宏 司	13.10. 1 ~ 15. 9.30
工学部分館長	中 野 政 身	13. 1. 1 ~ 14.12.31
農学部分館長	貫 名 学	13. 4. 1 ~ 15. 3.31
人文学部教授	阿 部 八 郎	14. 4. 1 ~ 16. 3.31
教育学部助教授	今 村 哲 史	14. 4. 1 ~ 16. 3.31
理学部教授	澤 井 毅	13. 4. 1 ~ 15. 3.31
事務部長	遠 藤 賢 治	14. 4. 1 ~

## 平成14年度第1回附属図書館協議会審議事項

(平成14年7月15日開催)

1. 平成14年度附属図書館予算配分要項(案)並びに中央図書館、3分館への予算配分(案)について
2. 附属図書館の法人化対応について
3. 電子ジャーナルの導入方策について
4. 学内研究情報の発信について
5. 図書の管理換について
6. その他

## 図書館ガイダンス及び利用説明会のご案内

(平成14年度・後期)

図書館利用ガイダンス(平成14年度・後期)

### 蔵書検索法(入門編)と図書館ツアー

開催日時:平成14年10月8日(火) 16時20分~16時50分(約30分間)  
平成14年10月9日(水) 16時20分~16時50分(約30分間)  
平成14年10月10日(木) 16時20分~16時50分(約30分間)

開催場所:中央図書館

◇1~2年生を対象としたOPAC(オンライン蔵書目録)を使つての蔵書検索法の説明会と館内めぐりの小旅行です。普段入室禁止の場所へもご案内します。

\*\*\*\*\* 時間まで中央図書館入口付近へお集まりください。\*\*\*\*\*



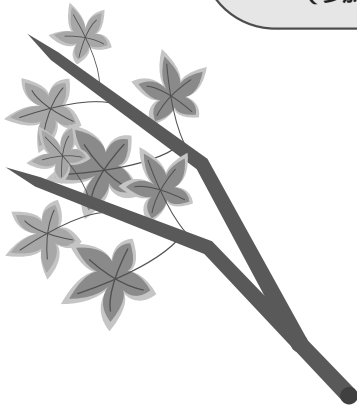
図書館利用説明会(平成14年度・第3回)

### 【雑誌記事索引】を利用した日本(語)文献検索法(入門編)

開催日時:平成14年11月7日(木) 16時20分~17時10分(約50分間)  
開催場所:中央図書館会議室

◇3~4年生・大学院生を対象としたNACSIS-IRを使つての日本(語)論文検索用データベース【雑誌記事索引】の利用法の説明会です。

\*\*\*\*\* 時間まで中央図書館会議室へお集まりください。\*\*\*\*\*  
(参加を希望される場合は、事前に担当係へご連絡願います。)



図書館利用説明会(平成14年度・第4回)

### 電子ジャーナル利用法(入門編)

開催日時:平成14年12月3日(火) 16時20分~17時10分(約50分間)  
開催場所:中央図書館会議室

◇大学院生・教職員を対象とした外国雑誌電子ジャーナルの利用法(接続から全文データ閲覧まで)の説明会です。

\*\*\*\*\* 時間まで中央図書館入口付近へお集まりください。\*\*\*\*\*  
(参加を希望される場合は、事前に担当係へご連絡願います。)

この他にも、図書館では必要に応じ、各種説明会を開催いたします。  
また、各先生方からのご要望により、授業の一環としての図書館ガイダンスを実施しています。授業時図書館ガイダンスを希望される場合は、お早めに担当係へご相談ください。

担当:図書館情報サービス課学術情報係

(TEL:4914, E-mail:jsagaku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)

## 原稿を募集中です

図書館利用上の建設的なご意見や、要望などをお寄せください。

023(628)4910 Eメール jkasen@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

..... 山形大学附属図書館 2002年10月発行(年2回刊) .....

〒990-8560 山形市小白川町1丁目4-12 <http://www.lib.yamagata-u.ac.jp/>